

記載例

様式第14号（第15条関係）

届出日を記入
(工事開始の7日前まで)

特定工作物解体等工事实施届

年 月 日

姫路市長 様

元請業者

届出者 住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地）

〒670-8501 姫路市安田四丁目1番地

氏名（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

〇〇建設株式会社 代表取締役 姫路 建一

電話 (079) 〇〇〇 - 〇〇〇〇

電子メール 〇〇〇@△△△.co.jp

担当者氏名

姫路 建二

工事全体の名称

特定工作物解体等工事の名称	姫路市〇〇ビル 解体工事	
特定工作物解体等工事に係る工作物の種類	用途	商業ビル
	構造・階数	RC造・5F
特定工作物解体等工事の種類	(2) 石綿含有材料を使用する部分を含む建築物等の解体の工事	
建築物にあつては、解体する部分の床面積の合計	1500 m ²	
特定石綿含有材料の使用の有無	有	無
特定工作物解体等工事の場所	姫路市〇〇町△丁目×番地	
特定工作物解体等工事の実施の期間	自 ○年 ×月 □日	〇〇日間
粉じんの処理又は飛散の防止の方法	別紙のとおり	
発注者の氏名又は名称及び住所等並びに法人にあつては、その代表者の氏名	姫路市安田四丁目1番地 姫路市 (〇〇〇〇課) 〇〇 電話 (079) 221 - 1111 電子メール 〇〇@△△.lg.jp	
下請負人が工事を実施する場合は、当該下請負人の氏名又は名称及び住所等並びに法人にあつては、その代表者の氏名	姫路市本町×× 〇〇土木株式会社 代表取締役 姫路 建三 電話 (079) △△△ - △△△△ 電子メール □□@××.co.jp	
備考		

吹付、保温材等の飛散性アスベストがある場合は“有”を選択。

・延べ床面積1000m²を超える解体工事の場合
→解体工事全体の期間を記入。
・延べ床面積1000m²を超えない解体工事の場合
→アスベスト除去工事の期間を記入。

発注者が公共団体等の場合は、担当課名と担当者名を記入。

下請負人が工事を請け負う場合のみ記入。

注「特定工作物解体等工事の種類」の欄は、次の種類の別を記入してください。

- (1) 石綿含有材料を使用しない建築物の解体の工事 (→延べ床面積1000m²を超える建物の解体工事)
- (2) 石綿含有材料を使用する部分を含む建築物等の解体の工事 (→非飛散性アスベスト有 延べ床面積80m²を超える建物の解体工事)
- (3) 特定石綿含有材料を使用する部分を含む建築物等の改修の工事 (→飛散性アスベスト有「特定粉じん排出等作業」の届出対象以外の工事)

必要添付書類

1. 付近見取図
2. 工程表
3. 標識(建築物等の解体等の作業に関するお知らせ)の写し
4. 石綿を使用する部分の図面もしくは写真
(石綿含有材料を使用しない建築物の解体の場合、添付の必要なし。)
5. 特定石綿含有材料を使用する建築物・工作物の解体・改修の場合及び石綿含有仕上塗材・下地調整材を使用する建築物の解体の場合、作業計画書
6. 事前調査で分析を実施した場合、その結果の写し(石綿含有の有無が記載されている箇所のみで可)

別紙

全ての粉じんに係る共通事項	防じんシート等の設置方法	解体建物周囲に足場を組み立て、防塵シートを設置する。		
	散水等の方法	敷地内配水管から取水し散水を実施する。		
石綿粉じんに係る事項	特定石綿含有材料の処理方法	除去・封じ込め・囲い込み (使用面積 m^2 使用部分 別添図面のとおりに)		
	散水その他の措置により石綿を含む水を排出するときは、排水の処理方法	排水なし。	排水がある場合は 処理方法を記入。	
	施工区画の隔離方法			
	隔離した施工区画の換気方法	施工区画の容積	$m^2 \times$ 高さ	$m = m^3$
		換気装置の換気能力	$m^3/時 \times$	台 = $m^3/時$
		1時間当たりの換気回数	換気能力 ÷ 施工区画の容積 = 回/時	
		換気装置の設置場所	別添図面のとおりに	
	隔離した施工区画の集じん方法	集じん機の種類・型式		
		集じん機の効率		
	清掃の方法	工事後、石綿含有材料が残らないよう、手作業で現場清掃を行う。		
標識	別添のとおりに			
その他	十分に湿潤した上で、すべて手作業で除去作業を行う。 石綿を含む部分は手ばらしにより解体する。 分別袋詰め後搬出を行う。			

飛散性アスベストを使用する部分の解体・改修を行う場合のみ記入。

注 この届出各欄に定めるもののほか、付近の見取図、建築物その他の工作物の配置図（解体又は改修の工事を行う部分の位置を記入したもの）及び工事の工程表を添付してください。